

## <筑紫シンポジウム>

<日時> 2018年 2月1日 (木曜日) 13:00-17:20 (開場 12:30)  
<場所> 九州大学筑紫キャンパス 筑紫ホール 総合研究棟 C-Cube 1F (福岡県春日市春日公園 6-1)  
<言語> 英語 および 日本語 (同時通訳)

### <プログラム及び講演者>

時間	プログラム・講演者
13:00-13:10	開会の辞 <b>吉田 茂雄</b> (応用力学研究所 教授)
13:10-14:10	講演 1 : <b>日本版シュタットベルケの誕生 – その目標と社会・経済的な意義</b> <b>RAUPACH SUMIYA JORG (ラウパッハ・スミヤ ヨーク) 氏</b> (立命館大学経営学部 教授・一般社団法人日本シュタットベルケネットワーク 理事長)
14:10-14:15	休憩
14:15-15:15	講演 2 : <b>地域エネルギー会社による“地域活性化”と“エネルギー転換”</b> <b>川又 孝太郎 氏</b> (在ドイツ日本国大使館 参事官)
15:15-15:20	休憩
15:20-16:20	講演 3 : <b>春日公園周辺公共施設の再エネ共同利用と防災機能強化</b> <b>原田 達朗</b> (炭素資源国際教育研究センター 教授)
16:20-16:25	閉会の辞 <b>林 潤一郎</b> (先導物質化学研究所 所長・教授)
16:25-16:30	休憩
16:30-17:20	見学会 : <b>高温プラズマ理工学研究センター QUEST</b>